

初めてでも作れる

# 基本の麻ひもバッグ

青木恵理子



最小限のテクニックで編む33デザイン



初めてでも作れる

# 基本の麻ひもバッグ

青木恵理子



# 麻ひもバッグを作ろう！

初めてでも、  
編み図が苦手な人でも  
作れるように工夫しました

## ① 覚えるテクニックは**最小限**

かぎ針編みには何種類も編み方がありますが、ぜんぶ覚える必要はありません。この本で使うのは「くさり編み」「こま編み」「引き抜き編み」の3つだけ。バッグ作りに必要な最小限のテクニックを、しっかりと丁寧に解説します。

## ② 同じ編み図で、**すこしのアレンジ**

同じ底でも側面のデザインを変える、側面まで同じでも持ち手のデザインを変える、この本では、そんなふうと同じ編み図にすこしのアレンジを加え、いろいろな形に変化させています。だから、ひとつ作り方を覚えるだけで、いろいろなバッグが作れるようになるのです。

## ③ バッグの**構造を知り**、作り方の**流れをつかむ**

編み図だと複雑そうに見えますが、実際はとてもシンプルな作り方です。この本ではバッグをパーツごとに分類して紹介し、完成するまでの流れをイメージしやすくしました。バッグの構造が理解できれば、作り方の流れも感覚でわかるようになり、好きな形を自由に編むことだってできるようになります。



## 麻ひもバッグのよいところ

### ① **すぐにはじめられる**

用意するものは麻ひもとかぎ針だけ。特別な材料や道具はいりません。

### ② **丈夫で型くずれしにくい**

荷づくり用の麻ひもを使うから、毛糸よりも丈夫でしっかりした形に仕上がります。

### ③ **使いやすい、合わせやすい**

バッグとしての実用性はもちろん、置いても倒れにくいのでインテリアの小物としても使えます。

### ④ **アレンジは自由自在**

デザインがシンプルだから、色を変えたり、装飾をしたり、自分好みのカスタマイズを楽しめます。

# 麻ひもバッグが できるまで

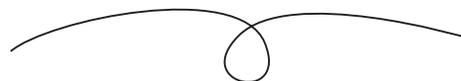
バッグはこのようなパーツの組み合わせで成り立っています。  
どのバッグも作り方の流れは同じ。  
「底 → 側面 → 持ち手」の順に編みすすめます。



## STEP 1

### 底を編む

底 (またはバッグのベースとなるパーツ) の形によって、2種類の編み方があります。



正円



だ円

⇒ ぐるぐる輪に編む



長方形



H型

⇒ 往復に編む



## STEP 2

### 側面を編む

目数を増やしたり (=増し目) 減らしたり (=減らし目) することで、デザインが変わります。

 まっすぐ (増減なし ±0)



 ならぬか (増し目 & ±0)



 ひろがる (増し目)



 せばめる (減らし目)



## STEP 3

### 持ち手を編む

持ち手は土台のつけ方や編み方に、いくつかのバリエーションがあります。

 くさり



 台形+くさり



 往復に編む



 だ円を折りたたむ



# contents

introduction 麻ひもバッグを作ろう！ 2

麻ひもバッグができるまで 4

## Basic

### 基本のバッグ

#### **1 正円・だ円のバッグ 8**

Basic A 9

Basic B 10

Basic B' 11

Basic C 12

Basic D 13

Basic E 14

Basic E' 15

Basic F 16

Basic F' 17

#### **2 長方形のバッグ 18**

Basic G 19

Basic H 20

Basic H' 21

#### **3 H型のバッグ 22**

Basic I 23